

文部科学省

# 文部科学省におけるスタートアップ創出支援と アントレプレナーシップ教育について

科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課  
産業連携推進室長 篠原量紗

## 1. SU創出支援

背景 → これまで → これから

## 2.アントレプレナーシップ教育

背景 → これまで → これから

# 1. SU創出支援

背景 → これまで → これから

# 2.アントレプレナーシップ教育

背景 → これまで → これから

# 世界的に見た我が国のスタートアップ創出支援及びアントレプレナーシップ教育の状況

- 世界的にみると、大学発スタートアップ創出数、及び企業価値が10億ドル（日本円で1300億円程度）以上となるユニコーン企業数は相対的に少なく、スタートアップへの投資額も諸外国と比べると後れをとっている。
- 起業活動率については、先進国中でも低く、起業に寄与するアントレプレナーシップ教育についても、諸外国と比べてその実施状況は後れを取っている。

## スタートアップ関連の諸外国との比較

### 大学発スタートアップ設立数

米国

**996社** (2021)

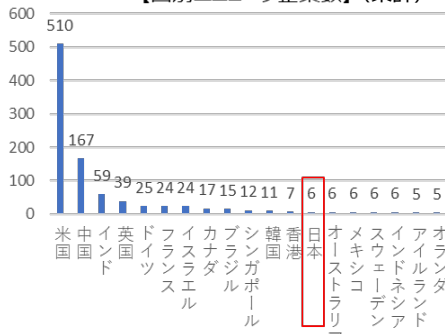
(出典) AUTM 2020 Licensing Activity Survey

日本

**244社** (2021)

(出典) 文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について（令和3年度実績）」

【国別ユニコーン企業数】(累計)



資料：CB INSIGHTS (2022年2月2日時点) を基に文部科学省にて作成

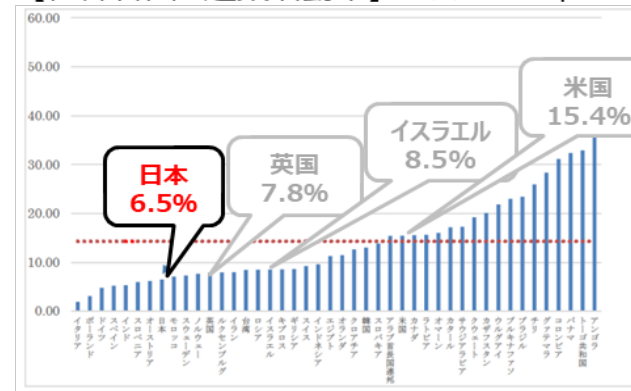
【国・地域別スタートアップ投資金額】(年間)



資料：ベンチャー白書2021（一般 財団法人ベンチャープライズセンター）を基に文部科学省にて作成

## 起業に関する諸外国との比較

【世界各国の起業活動率】 ※2020年



起業活動率：  
起業家の成人人口  
に占める割合 (%)

資料：令和2年度グローバル・スタートアップ・エコシステム連携強化事業「起業家精神に関する調査」報告書（令和3年3月）  
みずほ情報総研株式会社（経済産業省委託調査）

## アントレプレナーシップ教育に関するランキング（19か国中）

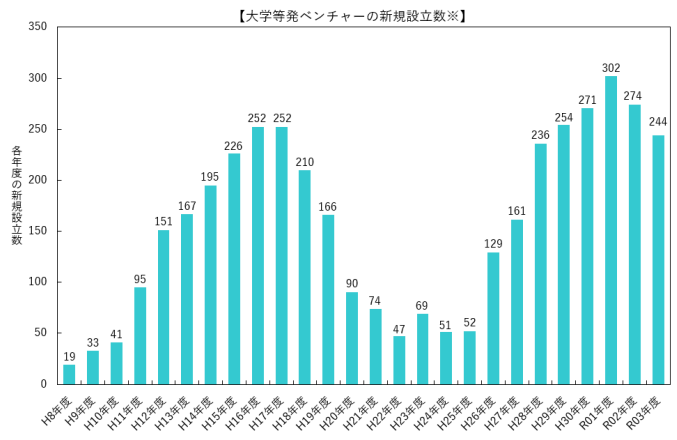
項目	日本	米国	韓国	フランス	フィンランド	イスラエル
在学段階でのアントレ教育実施状況	19位	14位	6位	17位	1位	15位
卒業後のアントレ教育実施状況	13位	10位	14位	5位	4位	17位

出典：Global Entrepreneurship Monitor 2021/2022 Global Report

# 我が国のスタートアップ創出支援及びアントレプレナーシップ教育の状況

- 大学発スタートアップ設立は近年増加率が頭打ちになっている傾向であり、スタートアップ創出支援体制が整っている大学は限定的
- 調査によると起業が少ない要因として、失敗に対する危惧や、学校教育、身近に起業家がないことが回答の7割を占めている
- アントレプレナーシップ教育の受講者数は全国の大学・大学院生の1%であるが、昨年度に全国の学生を対象としたオンライン形式のプログラムを開催し、全国約250の大学から1,400名もの学生から応募を得たところ、より実践的な教育への展開や若年層への機会拡大が次の課題

## 国内のスタートアップ創出の状況



出典：文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」

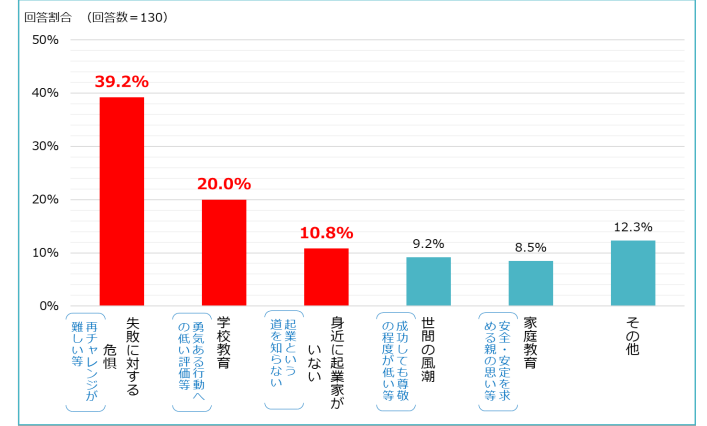
## 大学発スタートアップ創出支援体制

令和3年度大学等における産学連携等実施状況調査回答の**790大学中**

GAPファンド	アクセラレーションプログラム	メンタリング制度	インキュベーション施設
<b>45大学</b>	<b>43大学</b>	<b>50大学</b>	<b>96大学</b>

## 国内のアントレプレナーシップ教育の状況

### 起業が少ない最大の要因



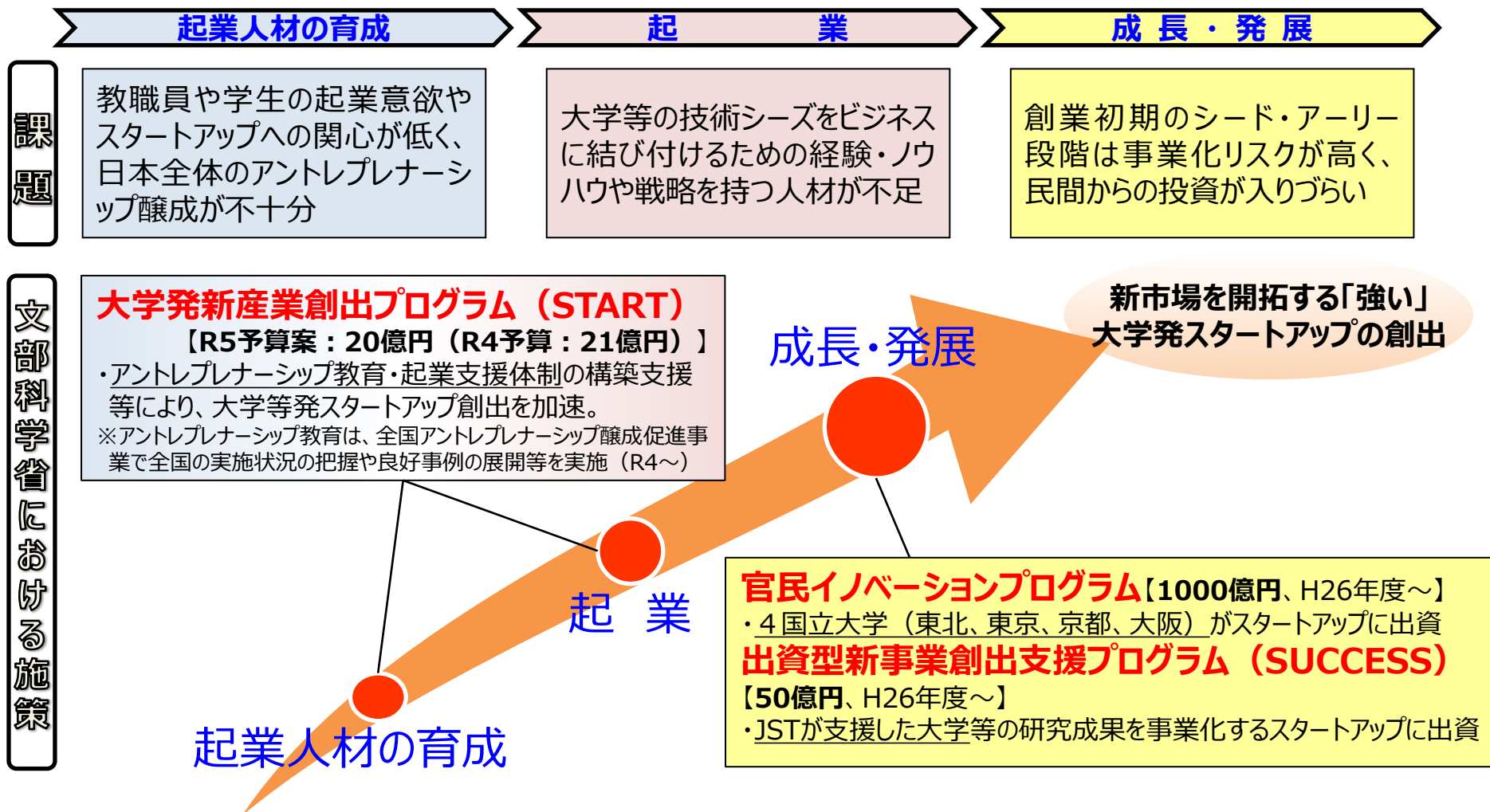
(出典) 一般財団法人ベンチャー・エンタープライズセンター「ベンチャー白書2021」を基に作成  
現状のアントレ教育の主な取組状況※

アントレ教育実施大学率	27%
アントレ教育受講率 (国内大学生・大学院生)	1%
ステージ毎のアントレ教育プログラムの整備状況	全プログラムのうち実践編の割合 7%
アントレ教育の年間予算	予算なし 35%
民間や他大学等外部機関との連携	ほとんどの大学で 不十分

出典：令和2年度科学技術人材養成等委託費「持続的・発展的なアントレプレナーシップ教育の実現に向けた教育ネットワークや基盤的教育プログラム等のプラットフォーム形成に係る調査・分析業務」成果報告書より抜粋

# 大学発スタートアップ創出・成長に向けた文部科学省の施策

- 新市場を開拓する「強い」大学発スタートアップの創出は急務。起業、人材育成等の各段階において様々な課題。
- 文部科学省では、大学を中心としたエコシステムの担い手（人材や大学発スタートアップ）を生み出すため、アントレプレナーシップ教育や新事業創出のための研究開発支援等の施策を実施。



## 【背景・課題】

- 経済成長や社会課題解決に向けて、イノベーションの担い手である大学等発スタートアップの活躍は必要不可欠。また、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していき精神 (アントレプレナーシップ) を備えた人材の育成を我が国全体で進めていくことが重要。
- 令和4年11月に「スタートアップ育成5か年計画」が決定されるなど、日本経済成長や社会課題を解決する鍵としてスタートアップの育成が政府の重要課題となっている。

## 【目的・概要】

- 令和2年7月に選定されたスタートアップ・エコシステム拠点都市において、**大学・自治体・産業界のリソースを結集し、大学発スタートアップの創出やその基盤となる人材育成に取り組み、エコシステムの形成を推進する。**
- 起業前段階から**公的資金と民間の事業化ノウハウ等を組み合わせることにより**、社会課題解決等に繋がる新規性と社会的インパクトを有する**大学発スタートアップを創出する。**

令和4年度第2次補正予算額 99,775百万円

※大学発スタートアップ創出の抜本的強化のため基金及び起業家層の拡大に向けたアンレ教育の高校生等への拡大のための予算として措置

### 【経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月閣議決定)抄】

起業拠点の整備を含めて**大学等も存分に活用しつつ**、知的財産の保護・活用の推進、規制・制度改革等を通じて**世界に伍するスタートアップエコシステムを作り上げ、大規模なスタートアップの創出に取り組む。**

### 【新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月閣議決定)抄】

スタートアップの育成は、日本経済のダイナミズムと成長を促し、社会的課題を解決する鍵である。このため、以下の項目等について、実行のための司令塔機能を明確化し、新しい資本主義実現会議に検討の場を設け、**5年10倍増を視野に5か年計画を本年末に策定**する。  
 産業界の協力を得て、起業家を教育現場に派遣いただき、**初等中等教育等における起業家教育を推進**する。

## 大学・エコシステム推進型

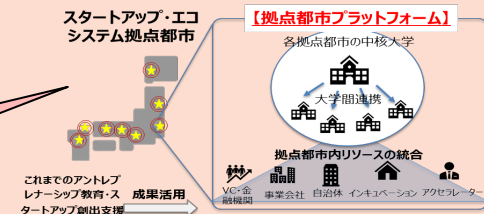
### 【スタートアップ・エコシステム形成支援】

- **スタートアップ・エコシステム拠点都市 (8都市) において自治体・産業界と連携し、大学等における実践的なアントレプレナーシップ教育やギャップファンドを含めた一体的な起業支援体制の構築**による起業支援を実施。
- 拠点都市に参画する**全大学でオンラインを含むアントレプレナーシップ教育を実施**するなど、我が国全体のアントレプレナーシップを醸成。

#### <拠点都市の支援>

- 支援額：1億円程度/年  
支援期間：5年度

アントレプレナーシップ教育と  
スタートアップ創出を  
一体的に支援



- 令和4年度第2次補正予算において、上記拠点に以下を追加措置
- 起業家層の拡大に向けたアンレ教育の高校生等への拡大：10億円 (8拠点都市を支援)

## 【大学推進型】

- ギャップファンド及び起業支援体制を整備し、スタートアップ創出力を強化。  
採択主幹機関：神戸大学、筑波大学、早稲田大学 支援期間：令和2～6年度 (5年度)

令和4年度第2次補正予算において、以下について基金を措置

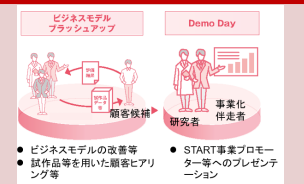
- **大学発スタートアップ創出の抜本的強化**：988億円 (事業実施期間：令和4年度～ (原則5年間) )  
拠点都市や地域の中核大学等の技術シーズに対する国際展開を見据えたギャップファンドプログラムの創設及び地域の中核大学等のスタートアップ創出の体制整備

## プロジェクト推進型



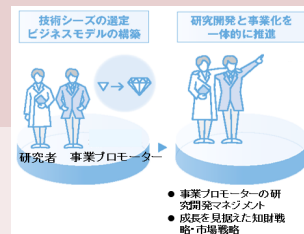
### 【ビジネスモデル検証支援】

- 研究者と事業化伴走者から構成されるチームにリーンスタートアップを基盤とするアントレプレナー教育の提供とビジネスモデル探索活動を支援。
- 支援額：8百万円程度/課題・年、8課題程度  
支援期間：1年度



### 【起業実証支援】

- 事業プロモーター (※) のマネジメントのもと、ポテンシャルの高い大学等の技術シーズに関して、事業戦略・知財戦略等の構築と、市場や出口を見据えた事業化を目指した研究開発プロジェクトを推進。
- 支援額：40百万円程度/課題・年、11課題程度  
支援期間：最長3年度



(※) **事業プロモーター**：ベンチャーキャピタル (VC) 等の新事業育成に熟練した民間人材を事業プロモーターとして選定し、大学等における技術シーズの発掘と事業計画の策定及び事業育成に係る活動を支援。

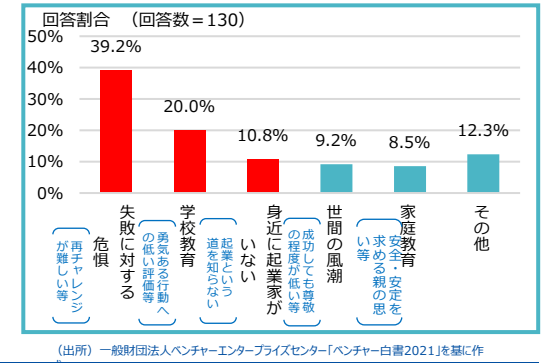
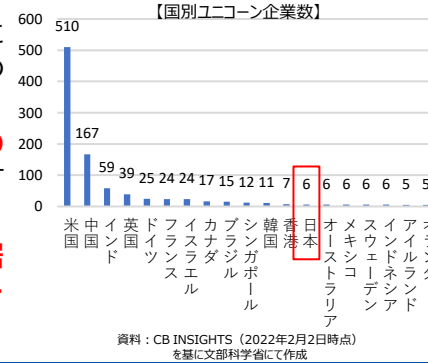
# 国際展開する大学発スタートアップの創出と 高校生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大

令和4年度第2次補正予算額 1,500億円  
 ※施設整備502億円については、地域中核・特色ある  
 研究大学の振興の一部と重複計上



## 背景・課題

- ✓ スタートアップ5年で10倍増を視野に、スタートアップを強力に育成するとともに、国際市場を取り込んで急成長するスタートアップを創出していくためには、**大学発スタートアップ創出力の抜本的強化**が必要
- ✓ そのためには、創業前から、**国際市場への展開可能性を検証するための支援や、地域の大学等から生まれる技術シーズへの支援、起業を志す人材育成の機会を抜本的に拡充**することが重要
- ✓ そこで、スタートアップ創出元年である令和4年度から、**国際展開も見据えたギャップファンド等の支援を大幅に拡充**するとともに**アントレプレナーシップ教育の機会を高校生等へと拡大**する



## 事業内容

大学発スタートアップの創出を強力に支援するため、国際市場への展開を目指すスタートアップの創出も含めて支援するギャップファンドプログラムを実施する基金を創設するとともに、地域の中核大学等への施設やスタートアップ創出環境の整備、アントレプレナーシップ教育の高校生等への拡大に向けて以下の取組を行う

## 大学発スタートアップ創出の抜本的強化

988億円【基金】

事業実施期間：令和4年度～（原則5年間）

- 大学発スタートアップ創出を支援するギャップファンドプログラムの新設
  - 拠点都市や地域の中核大学等の技術シーズに対して、海外の専門家等からのメンタリングなどとセットで国際市場への展開可能性を検証するギャップファンドプログラムを創設し、国際市場への展開を目指すスタートアップ等の創出に取り組む

- 地域の中核大学等のスタートアップ創出体制の整備
  - 大学発スタートアップ創出の抜本的強化に向けて、地域の中核大学等を中心に、地域の金融機関や他大学等と連携して、優れた技術シーズ等を活用した起業を進めるためのエコシステム形成に取り組む

## 起業家層の拡大に向けたアントレ教育の高校生等への拡大 -EDGE-PRIME Initiative-

10億円

- スタートアップ創出の抜本的拡大に向けて、その基盤となる人材の量や多様性を増やすため、拠点都市を中心にアントレプレナーシップ教育の機会を、優れた理数系の才能を有するこどもを始め、将来設計の入り口である高校生等へ拡大
- 件数・単価：1.2億円程度×8拠点
- 交付先：JSTを通じて大学等を支援

## 地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業

502億円（※）


- 研究力の向上戦略の下、大学間の連携を通じて地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学による取組に対し、共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備を支援
  - 件数・単価：20億円程度×25件程度
  - 交付先：大学
- ※地域中核・特色ある研究大学の振興の一部と重複計上




# 大学を中心としたスタートアップ・エコシステム拠点都市への支援

- **スタートアップ・エコシステム拠点都市**において、**自治体・産業界と連携し、大学等における実践的なアントレプレナーシップ教育**や起業・事業化に向けた研究開発資金（いわゆる「**GAPファンド**」）、ネットワーク強化等の**総合的な環境整備**を支援。計80大学、2高等専門学校が拠点都市に参画。

## 大学発新産業創出プログラム (START)

R3当初（～R7）：3プラットフォーム   
×約1億円

R4当初（～R8）：4プラットフォーム   
×約1億円

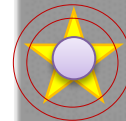
R2補正：9プラットフォーム ×約2億円  
R3補正：7プラットフォーム ×約3.5億円 } **GAP  
ファンド**



スタートアップ・エコシステム拠点都市（内閣府）



スタートアップ・エコシステム形成支援R3採択プラットフォーム（JST）



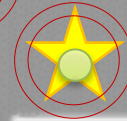
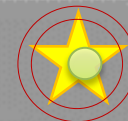
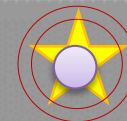
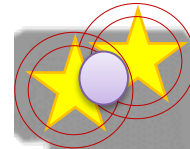
スタートアップ・エコシステム形成支援R4採択プラットフォーム（JST）

## 【グローバル拠点都市】

- 東京圏：スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム
- 東海圏：Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- 関西圏：大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム
- 福岡：福岡スタートアップ・コンソーシアム

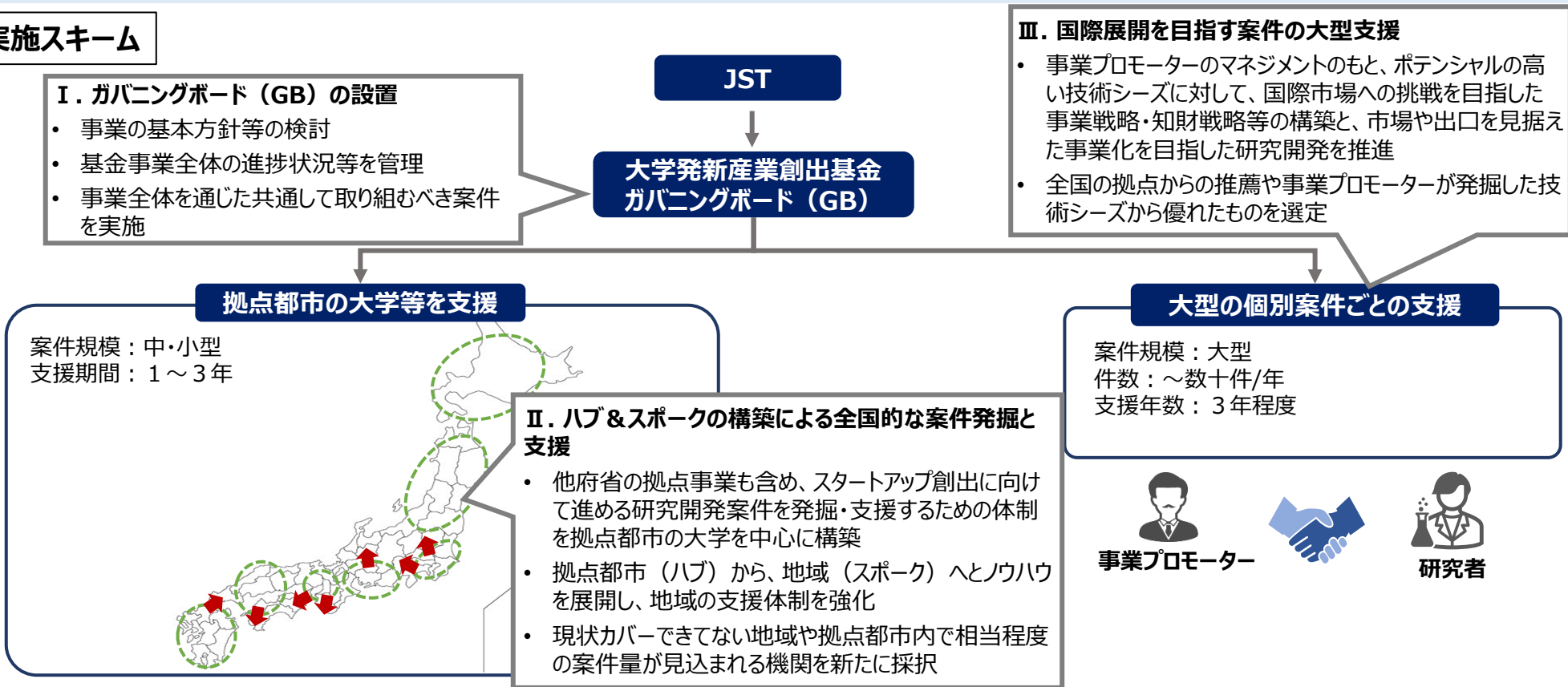
## 【推進拠点都市】

- 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
- 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
- 広島地域イノベーション戦略推進会議
- 北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム



- これまで取り組んできたスタートアップ・エコシステム拠点都市への支援をベースに、大学発スタートアップ創出強化に向けた研究開発と体制構築を支援。
- 事業の進捗管理や資源配分の最適化に向け、ガバニングボードの設置など事業運営体制の強化を進める。
- スタートアップ創出に向けて進める研究開発案件を全国で広く発掘するためのスキームを構築するとともに、国際展開を目指す大型案件の支援の強化に取り組む。

**実施スキーム**



**スケジュール**

令和4年度内にJSTに基金を造成し、年度明けから順次速やかに公募・審査・採択予定

## 1. SU創出支援

背景 → これまで → これから

## 2.アントレプレナーシップ教育

背景 → これまで → これから

# 大学生等へのアントレプレナーシップ教育：全体像

## 【未来社会像】

多様な価値を認め“Well-being”を達成するためのよりよい社会  
一つの固定されたものではなく、常に考え続けていかなければならないもの

## 【目指す人材】

急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神  
(アントレプレナーシップ)を備えた人材の創出

研究成果の活用も含め、スタートアップやスモールビジネス、  
地域特有課題の解決など、創造したい未来・解決したい課題に応じ、  
実際に事業を進めていくにあたり必要な様々な専門知識や機会を提供

既存組織

スタートアップ

スモールビジネス※

未来創造や課題解決のために必要な汎用知識やスキルを  
提供すると共に、それらを活用し、  
実現に向けた仮説検証ができる場や機会を提供

社会に存在する課題を自分事として捉える  
課題の発見力や共感力を育むことを入口に、  
不確実性の高い環境下でも自身の持つ資源を超えて機会を追求し未来創造や  
課題解決に向けた行動を起こしていくための精神と態度を学ぶ場や機会を提供

## ■ 各専攻分野を通じて培う学士力

(中央教育審議会答申)

- (1) 知識・理解、(2) 汎用的技能、(3) 態度・志向性、
- (4) 統合的な学習経験と創造的思考力

## ■ 「生きる力、学びのその先へ」

(文科省 学習指導要領)

- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする(学びに向かう力など)
- ・実際の社会や生活で生きて働く(知識及び技能)
- ・未知の状況にも対応できる(思考力、判断力、表現力)

## ■ Education2030

「変革を起こす力のある  
コンピテンシー」(OECD)

- ・新たな価値を創造する力
- ・対立やジレンマを克服する力
- ・責任ある行動をとる力

※スモールビジネスにはNPOなども含む

## アントレプレナーシップの発揮

社会実践段階

## コンピテンシーの形成段階



動機付け・意識醸成段階

## アントレプレナーシップの醸成

アントレ教育に関わらず、  
大学卒業までに  
広く身に着けるべき能力

# 大学生等へのアントレプレナーシップ教育：これまでの施策

2014～2016年度

2017～2021年度

2021年度～

グローバルアントレプレナー育成促進事業 (EDGE)

次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)

スタートアップ・エコシステム形成支援

起業に挑戦する人材や産業界でイノベーションを起こす人材の育成プログラムを開発・実施

学生等によるアイデア創出にとどまらず、実際に起業まで行える実践プログラムの構築、アントレプレナー育成に必須の新たなネットワーク構築等を通じて我が国全体のアントレプレナーシップ醸成、ベンチャー創出力の強化

スタートアップ・エコシステム拠点都市において自治体・産業界と連携し、大学等における実践的なアントレプレナーシップ教育とGAPファンド及び起業支援体制を構築。成長性のある大学等発ベンチャー創出力を強化

若手研究者  
大学院生等

若手研究者・大学院生・学部生・社会人

若手研究者・大学院生・学部生・社会人等

支援規模  
約6千万円/大学

支援規模  
約8千万円/コンソーシアム

支援規模  
約1億円/プラットフォーム  
※GAPファンド費用等も含む

13大学

5コンソーシアム  
24大学

7プラットフォーム  
82大学等

時代の変遷、社会からの要請の変化により支援対象、カバーする範囲が拡大

アントレプレナーシップの発揮

社会実践段階

コンピテンシーの形成段階

動機付け・意識醸成段階

アントレプレナーシップの醸成

# 高校生等へのアントレプレナーシップ教育の推進へ

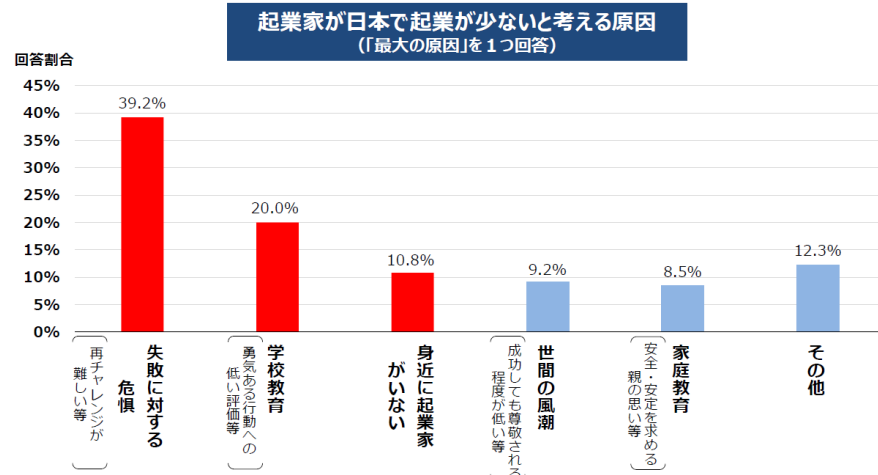
## 社会的な背景

- ✓ 18歳に対する自身の将来や目標に関する質問で、全ての項目において日本は6カ国中最下位

(単位: %)	将来の夢を持っている	自分の将来が楽しみである	社会が今後どのように変化するか楽しみである	多少のリスクが伴っても、新しいことに沢山挑戦したい	多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい	リスクのある挑戦よりも、経済的安定を重視する	リスクのある挑戦よりも、心理的安定を重視する
日本	59.6 6位	57.8 6位	54.0 6位	49.0 6位	44.9 6位	70.4 6位	68.3 6位
アメリカ	82.1	79.0	75.6	77.0	79.2	76.5	74.5
イギリス	78.3	75.7	71.1	78.1	81.4	72.6	71.7
中国	84.7	86.9	85.6	79.8	78.8	78.7 1位	78.1 1位
韓国	81.5	77.6	72.3	68.6	67.2	76.6	76.7
インド	93.3 1位	90.6 1位	88.5 1位	84.4 1位	87.6 1位	74.2	75.9

出典：18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」2022年3月（日本財団）

- ✓ 我が国で起業家が少ない原因として、失敗に対する危惧、学校教育、身近に起業家がないといった回答が多い（日本の起業家に対するアンケート結果）



(注) 設立5年以内のベンチャー企業1,514社に対して、2021年5月11日-6月11日に実施したアンケート調査の結果（本設問への回答は130社）。  
(出所) 一般財団法人ベンチャー・エンタープライズセンター「ベンチャー白書2021」を基に作成。

## 政策的な背景

### 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月閣議決定)抄

- 産業界の協力を得て、起業家を教育現場に派遣いただき、初等中等教育等における起業家教育を推進する。

### スタートアップ育成5か年計画(令和4年11月 新しい資本主義実現会議決定)抄

- 小中高生を対象にして、起業家を講師に招いての起業家教育の支援プログラムの新設や、小中高生向けに総合的学習等の授業時間も活用した起業家教育の実施の拡大を図る。
- さらに、起業家教育に体系的に取り組む高校・高等専門学校や、STEM分野で高い能力を有する小中高生に対する教育機会の支援を強化する。

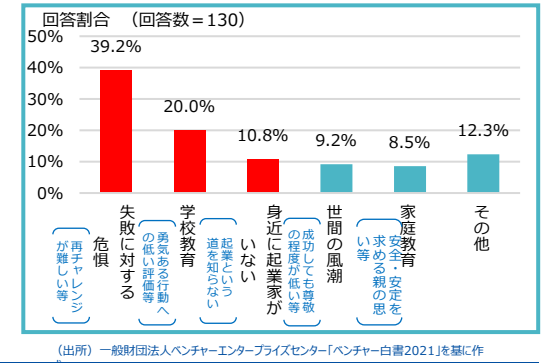
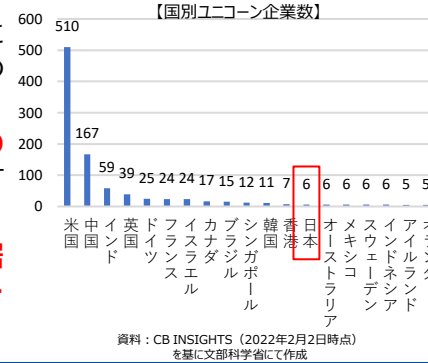
# 国際展開する大学発スタートアップの創出と 高校生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大

令和4年度第2次補正予算額 1,500億円  
 ※施設整備502億円については、地域中核・特色ある  
 研究大学の振興の一部と重複計上



## 背景・課題

- ✓ スタートアップ5年で10倍増を視野に、スタートアップを強力に育成するとともに、国際市場を取り込んで急成長するスタートアップを創出していくためには、**大学発スタートアップ創出力の抜本的強化**が必要
- ✓ そのためには、創業前から、**国際市場への展開可能性を検証するための支援や、地域の大学等から生まれる技術シーズへの支援、起業を志す人材育成の機会を抜本的に拡充**することが重要
- ✓ そこで、スタートアップ創出元年である令和4年度から、**国際展開も見据えたギャップファンド等の支援を大幅に拡充**するとともに**アントレプレナーシップ教育の機会を高校生等へと拡大**する



## 事業内容

大学発スタートアップの創出を強力に支援するため、国際市場への展開を目指すスタートアップの創出も含めて支援するギャップファンドプログラムを実施する基金を創設するとともに、地域の中核大学等への施設やスタートアップ創出環境の整備、アントレプレナーシップ教育の高校生等への拡大に向けて以下の取組を行う

## 大学発スタートアップ創出の抜本的強化

988億円【基金】

事業実施期間：令和4年度～（原則5年間）

### ○大学発スタートアップ創出を支援するギャップファンドプログラムの新設

- 拠点都市や地域の中核大学等の技術シーズに対して、海外の専門家等からのメンタリングなどとセットで国際市場への展開可能性を検証するギャップファンドプログラムを創設し、国際市場への展開を目指すスタートアップ等の創出に取り組む

### ○地域の中核大学等のスタートアップ創出体制の整備

- 大学発スタートアップ創出の抜本的強化に向けて、地域の中核大学等を中心に、地域の金融機関や他大学等と連携して、優れた技術シーズ等を活用した起業を進めるためのエコシステム形成に取り組む

### 起業家層の拡大に向けたアントレ教育の高校生等への拡大 -EDGE-PRIME Initiative-

10億円

- スタートアップ創出の抜本的拡大に向けて、その基盤となる人材の量や多様性を増やすため、拠点都市を中心にアントレプレナーシップ教育の機会を、優れた理数系の才能を有するこどもを始め、将来設計の入り口である高校生等へ拡大
- 件数・単価：1.2億円程度×8拠点
- 交付先：JSTを通じて大学等を支援

### 地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業

502億円（※）

- 研究力の向上戦略の下、大学間の連携を通じて地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学による取組に対し、共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備を支援
  - 件数・単価：20億円程度×25件程度
  - 交付先：大学
- ※地域中核・特色ある研究大学の振興の一部と重複計上



# 高校生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大方策 :EDGE-PRIME Initiative\*

\* Exploration and Development of Global Entrepreneurship for Primary, Middle and High School Students Initiative

全国各地で小中高生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会を拡大すべく、産業界・自治体等の方々とも連携しながら、省庁横断で一体的に推進。

## ① 拠点都市を中心とした面的展開

- ★ スタートアップ・エコシステム拠点都市  
大学発新産業創出プログラム (START)  
大学・エコシステム推進型【スタートアップ・エコシステム形成支援】  
(※拠点都市がある都道府県には、全国約1300万人の小中高生のうち、約760万人の小中高生が所在)

## ② 各地での先端的な取組の展開

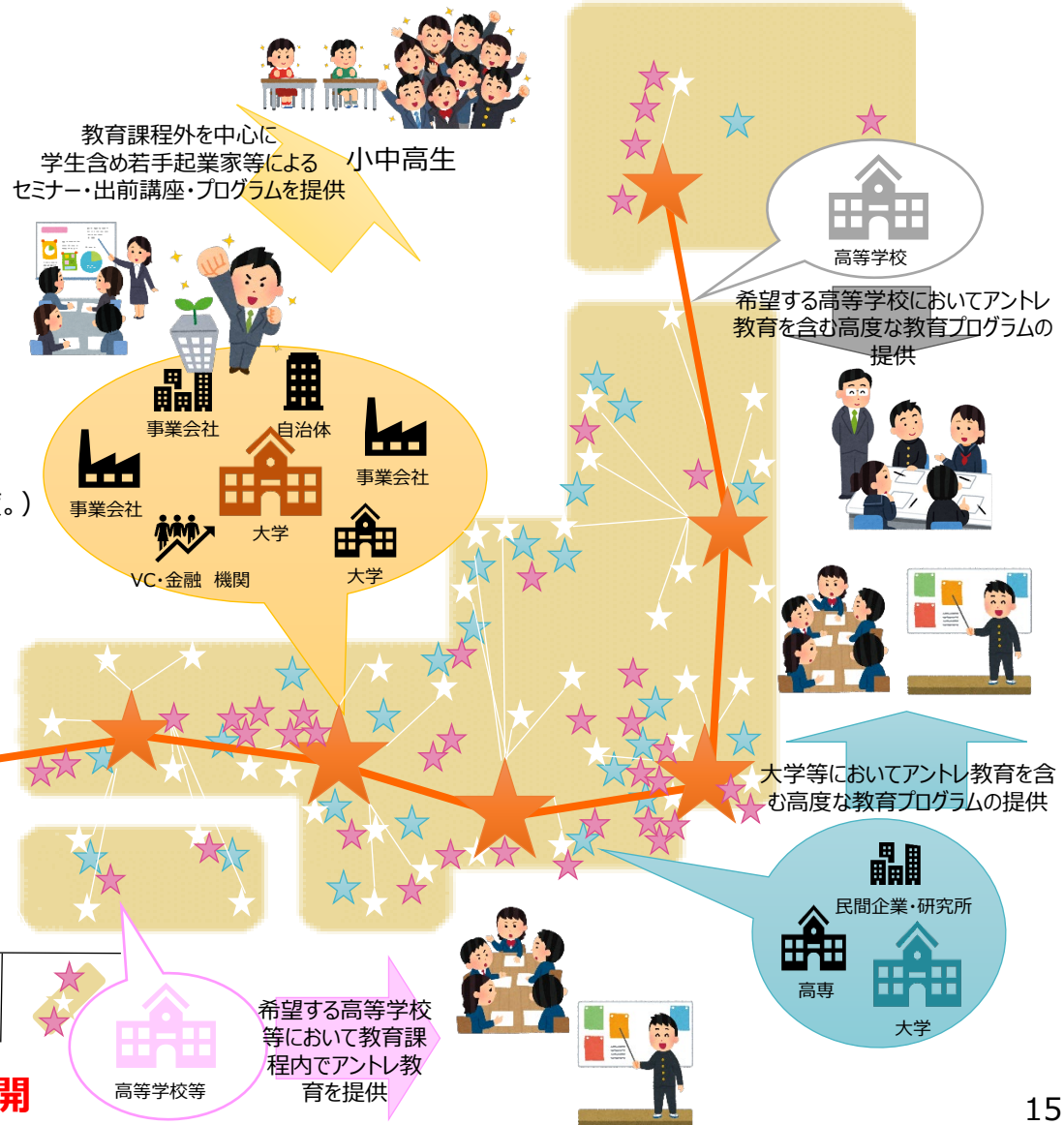
- ★ グローバルサイエンスキャンパス  
ジュニアドクター育成塾 実施機関  
(現在、実施機関は31都道府県に点在。受講者は年間約2,500人程度。)
- ☆ スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 支援事業  
(現在、指定校は47都道府県に点在。全国約5000校のうち、約200校が指定を受ける。)

## ③ 各学校へのアントレ教育支援

- ★ 起業家教育事業 (中小企業庁)
  - ✓ 標準的カリキュラムを活用し、課程内でプログラムを実施する高等学校等を支援
  - ✓ HPIにリストを掲載し、高等学校等に起業家を派遣

他、高専を中核とした地域×若者による新たな価値創造の促進や小・中・高等学校等におけるキャリア教育とも連携

デジタル田園都市構想とも連携し、全国各地へ展開





# 起業家教育推進大使の任命について

## 背景・概要

令和4年11月、政府全体でスタートアップ創出の抜本的強化をすべく「スタートアップ育成5か年計画」が決定されたことを受け、アントレプレナーシップ教育の機会を高校生等へ拡大する施策を打ち出すとともに、その機運を高めるため、推進役となる「起業家教育推進大使」10名を令和5年1月24日に文部科学大臣から任命した。推進大使は今後、広報活動やイベントにおける講演等などに協力頂く。

## 起業家教育推進大使

新井 元行	株式会社Synspective 代表取締役CEO
池田 弘	日本ニュービジネス協議会連合会 会長 NSGグループ 会長
出雲 充	日本経済団体連合会 審議員会副議長 スタートアップ委員長 株式会社ユーグレナ 代表取締役社長
関山 和秀	Spiber株式会社 取締役兼代表執行役
田中 仁	前橋商工会議所 副会頭 株式会社ジズホールディングス 代表取締役CEO
南場 智子	日本経済団体連合会 副会長 スタートアップ委員長 株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
藤本 あゆみ	スタートアップエコシステム協会 代表理事 Plug and Play Japan株式会社 執行役員CMO
間下 直晃	経済同友会 副代表幹事 規制・競争政策委員会委員長 株式会社バイキューブ 代表取締役会長グループCEO
米良 はるか	インパクトスタートアップ協会 代表理事 READYFOR株式会社 代表取締役CEO
吉田 浩一郎	新経済連盟 理事 株式会社クラウドワークス 代表取締役社長兼CEO



※（50音順、敬称略）

※任期：任命日（令和5年1月24日）～令和6年3月31日

※詳しくはこちら →

